

令和8年度 第1回 村櫛小学校学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年5月8日（金） 13時30分から15時30分まで（参観含む）
- 2 開催場所 村櫛小学校 3階 会議室
- 3 出席委員 遠山 通夫、徳増 久子、徳増 善幸、藤田 善人、徳増 百合子、藤田 伸幸
堀本 晴子、山本 祐士、古橋 千穂
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 杉山 理恵
- 6 学 校 石塚 稚人(校長)、影山 直巳(教頭)、吉田 真季(CSディレクター)
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 吉田 真季

9 会長の選出及び副会長の指名

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、遠山通夫委員から徳増久子委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された徳増久子委員から、徳増善幸委員を副会長に指名する旨の報告があった。

10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、遠山通夫委員から徳増久子会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 熟議事項

- (1) 令和8年度村櫛小学校 学校運営の基本方針について
- (2) 村櫛小学校いじめ防止基本方針について
- (3) 令和8年度 学校運営協議会の目標について
- (4) 令和8年度の支援活動についての意見交換
- (5) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

12 会議記録

司会の影山直巳教頭から、委員総数9人のうち9人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 令和8年度村櫛小学校 学校運営の基本方針について

石塚稚人校長から別紙に基づき令和8年度の学校運営の基本方針について説明があった。「一人一人を大切にする学校、一人一人が活躍する学校」をキーワードにレインボープランを学校運営の中心におき、子供たちが「今日一日に満足して下校し、明日の登校が楽しみ」と思える学校づくりを目指したい。小規模校だからこそできる教育を強みにし「地域に誇りを持ち、自分に自信をもてる」特色ある活動を展開していきたい。一方で体験不足や人間関係づくりの面で課題があるので手立てを講じたい。委員からは、以下の発言があった。

- ・本来の目的が見える教育活動が必要。できない理由ではなくできる理由を考える。目的を見極めることが大切(遠山通夫委員)
- ・石塚稚人校長の説明に賛同する。小規模校を強みにかえてきめ細やかな対応をうりに子供たちが自信をつけられるようにしたい。また、村櫛の歴史など地域住民も覚えていないこともある。学校の学びの行事に住民も誘ってほしい。そして、地域住民を学校運営に巻き込むきっかけにしていきたい(徳増久子委員)
- ・娘が小学生の頃、父母参加型の料理教室、電照菊教室の学校行事を思い出した。小規模な環境で育ってきたので、リーダーになる機会が多く積極的な面が育った。庄内中学校や高校へ進学するとそういった面がより分かる(徳増百合子委員)
- ・運営協議会に参加するまでは村櫛小学校の入学者数減少を聞き不安があった。石塚稚人校長の話聞き、子供たちが受けられる教育の手厚さに魅力を感じた(堀本晴子委員)

- ・生まれも育ちも村櫛。小学生の頃にあった、フィッシングクラブ・ゲートボールクラブがなくなり残念。村櫛には高齢者の住民が多くいるので是非復活してほしい(山本祐士委員)
 - ・運営協議会に参加して、地域の方がたくさん意見を出し、子供たちのよりよい教育活動のために関わってもらっていることが分かりうれしい。地域の歴史はあまりわからない保護者が多いので学校で教えてあげてほしい(古橋千穂委員)
 - ・色々な体験をすることで新しい自分を見つけていく、そんな教育が大事。村櫛小学校の先生が、新しい教育素材を見つけようと御山塚に登ったり村櫛小学校の周辺を散策してくれるのはありがたい。先生から要望を伝えてもらえると体験活動を紹介したり協力したりしやすい(徳増善幸委員)
- 協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(2) 村櫛小学校いじめ防止基本方針について

石塚稚人校長から別紙に基づき村櫛小学校いじめ防止基本方針について説明があった。いじめの未然防止に向けて子供を取り巻く大人が一丸となって対応していく。「校内いじめ対策委員会」については毎月1回定期的に開催すると共に、事案が発生した際にも即時開催をしている。いじめ防止に関する取組として、帰りの会での「よいこと見つけ」「今日のヒーロー」を実施。浜松いじめアンケートを年3回行っている。委員からは、以下の発言があった。

- ・「不登校ゼロ」は素晴らしい。どの子にも村櫛小学校に居場所がある。だから学校に登校できる。人数が多ければコミュニケーション能力や社会性が伸びるわけではない。個々による。村櫛小学校には、少人数だからリーダーになれる、発表できる、そんな学校になってほしい(藤田伸幸委員)

(3) 令和8年度 学校運営協議会の目標について

徳増久子会長より前回の学校運営協議会自己評価の結果に基づき令和8年度の目標について説明があった。新しく取り入れた「一人一人を大切に作る学校、一人一人が活躍する学校」の指針に添った活動がどれだけ提案できるか、その結果について熟議していく。一方で情報発信について課題があり地域住民を引き込み学校を理解してもらえるように協力していきたい。委員からは特に反対の発言はなく承認された。

(4) 令和8年度の支援活動についての意見交換

影山直巳教頭から5年生のへちまプロジェクト、その他の支援活動について報告があった。その報告をふまえて、令和8年度の支援活動について熟議した。

- ・外部講師の五明さんを招いた2年目のへちまプロジェクトはさらに活動の幅が広がり、へちまに着色し工作したプテラノドンを城北図書館に展示してもらった(石塚稚人校長)
- ・村櫛の黒田家具さんの木工作品制作体験に参加した。タブレットスタンドの制作過程で黒田さんと子供たちの活発な関わりがあり「家具職人 黒田さんを学ぶ」という機会になった。家具職人として怪我した手を実際に見ることによって、安全にも気をつける必要があることを学べたのではないかと(徳増善幸委員)
- ・タブレットスタンドのすばらしい作品が出来上がり、子供たちの目が生き生きとしていたと感じとれた。木工作品制作やへちまプロジェクトを今後も是非続けてほしい(徳増久子委員)

(5) 夢育やらまいか事業に対する意見書について

影山直巳教頭から夢育やらまいか事業に対する意見書について説明があった。市からもっている予算を栽培活動や「船の遠足」「浜名湖体験」といった地域素材に関わる活動の充実に使っていきたい。委員からは特に反対の発言はなく承認された。

※その他の連絡事項等

村櫛幼稚園園長より別紙資料に基づき村櫛幼稚園について報告、影山直巳教頭から次回会議は令和8年11月6日(金)13時30分から3階会議室で開催する旨の報告があった。